

相澤病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	救急外来における理学療法介入の実態と、介入後の帰宅可否に関連する因子の検討：後ろ向き観察研究 (承認 No. 2025-006)
当院の研究責任者 (所属・職名・氏名)	救命救急センター・医長・杉本龍
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	当院では10年以上にわたり、救急外来において日勤帯に常駐する理学療法士による介入体制を整備しており、数多くの患者さんが理学療法を受けた後に帰宅しているという実績があります。しかし、救急外来で理学療法を行うことの有効性に関する報告は少なく、その有効性や関連因子を検証した系統的な研究は行われていません。また、日本では救急外来で理学療法を行うことは一般的ではありません。本研究では当院救急外来における理学療法介入の現状を把握し、介入後に患者が自宅に帰宅できるか否かに関連する要因を明らかにすることを目的として実施します。
調査データ 該当期間	2023年1月1日～2024年12月31日までの情報を調査対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる患者さん 上記期間内に救急外来を受診し、理学療法を受けた方 松葉杖指導のみの方やデータ欠損のある方は除きます。</p> <p>●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録（年齢、性別、ER滞在時間、ER帰宅後7日以内の予定外ER受診、受診前の住居、骨粗鬆症の既往、認知症の既往、下肢手術の既往、脳卒中の既往、来院時の疼痛の程度、来院方法、疼痛部位、骨折部位、非骨折性疼痛の有無、内科疾患での理学療法実施の有無、病前の自立度、実施リハビリ単位数、リハビリ後の転帰、介護者の有無、介護保険の有無）</p> <p>●研究期間：2025年4月25日～2027年3月31日</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません
個人情報の取り扱い	利用する情報から個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報などの個人情報を削除して患者さんを直接特定できる情報は削除致します。また、研究成果は学会・論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	相澤病院 救命救急センター 医長 杉本龍 Tel：0263-33-8600(代表)